特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の番類記号 PCT04-022	今後の手続きについては、様式	PCT/IPEA/416を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2004/015924	国際出願日 (日. 月. 年)· 27. 10. 20	優先日 (日.月.年) 26.12.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. F28F9/02	? (2006. 01), F25B39/04(2006. 01)	
出願人 (氏名又は名称) 株式会社ヴァレオサーマルシステムズ		
 この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の 		た国際予備審査報告である。
2. この国際予備審査報告は、この表紙	を含めて全部で 3	_ ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付さる a. [] 附属眷類は全部で	れている。 ページである。	
	を礎とされた及び/又はこの国際予 (PCT規則 70.16 及び実施細則第	偏審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範 607 号参照)
「 第 I 欄 4 . 及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し		出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの
 b. 電子媒体は全部で		(電子媒体の種類、数を示す)。
	ように、電子形式による配列表又	は配列表に関連するテーブルを含む。
4. この国際予備審査報告は、次の内容	を含む。	
The same of the sa	***	
第 Ⅰ 欄 国際予備審査第 Ⅰ 欄 優先権	報告の基礎	
第二個 医九種 医九種 第一個	性又は産業上の利用可能性について	ての国際予備審査報告の不作成
第IV欄 発明の単一性		
■ 第V欄 PCT35条(2))に規定する新規性、進歩性又は産	業上の利用可能性についての見解、それを裏付
けるための文		
けるための文 「 第VI欄 ある種の引用	文献	
けるための文 「」第VI欄 ある種の引用 「」第VI欄 国際出願の不	文献 備	
けるための文 「 第VI欄 ある種の引用	文献 備	
けるための文 「」第VI欄 ある種の引用 「」第VI欄 国際出願の不	文献 備 する意見 	
けるための文 「」第VI欄 ある種の引用 「」第VI欄 国際出願の不	文献 備 する意見 	査報告を作成した日 16.02.2006

特許庁審査官(権限のある職員)

電話番号 03-3581-1101 内線 3337

長崎 洋一

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 様式PCT/IPEA/409(表紙) (2005年4月)

日本国特許庁 (IPEA/JP)

郵便番号100-8915

名称及びあて先

3 L

8610

第:	I欄	報告の基礎		
_				
1.			告は以下のものを基礎とし	L72.
	Z	出願時の言語による国際	景出腺	語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
	1_1	出願時の言語から次の	3月110 0/-) ひょちつ 1/5)	DD (C BID) (C 4 D (C , C) ED (C III) A III (C)
		Ⅰ: 国際調査(PCI# ■際公開(PCT#	見則12.3(a)及び23.1(b)) 見則12.4(a))	
			T規則55.2(a)又は55.3(a))
2.	この	報告は下記の出願書類を	・基礎とした。(法第6条	(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され この報告に添付していない。)
	7	出願時の国際出願書類		
	. !	明細書		
		第	ページ、	出願時に提出されたもの
		第	ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第	ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	П	請求の範囲		
	- 14	第	項、	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの
		第		PCT19条の規定に基づき補正されたもの
		第	項*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		弗		
		図面		
		第	ページ/図、	出願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの けは不同際予備審査機関が受理したもの
		第 第	ページ/図*、 ページ/図*	付けで国際予備審査機関が受理したもの
		配列表又は関連するテー	ーブル 充欄を参照すること。	
		出り収に戻りる情	JUIN E PART DE CO	•
3.		補正により、下記の書	類が削除された。	
Ο.	P 1			
		明細書	第	ベージ 項
		請求の範囲 図面	. 第	
		記別表 (具体的に		
			テーブル(具体的に記載す	つること)
4.	[]	この報告は、補充欄に えてされたものと認め	示したように、この報告に られるので、その補正が?	こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 されなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
		川 明細書	第	ページ
		一 神井の禁囲	第	ページ 項
		「関面	第	ページ/図
		配列表(具体的に	記載すること)	
		□ 配列表に関連する	テーブル(具体的に記載す	
*	4. 1	に該当する場合、その用	紙に "superseded"と記り	くされることがある。
	'			

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/015924

 新規性(N)	無有無有無有無 一ド ヴェルケ アクツィンエン 全頁 の一対のタンク間に配置される初に スロから前記各チューブの別 1.15≤L/Dt≤42とした3	2節囲	
 選求の範囲 進歩性(IS) 請求の範囲 産業上の利用可能性(IA) 請求の範囲 文献及び説明(PCT規則70.7) 文献1: JP 2002-521644 A(フォード ヴェルケ アクツィンゲゼルシャフト)2002.07.16,全頁 & WO 2000/006964 A1 請求の範囲1-4 請求の範囲1に係る発明の、一対のタンクと、この一対のタンク間に配置され数のチューブと、これらのチューブ間に介在するフィンとから構成された熱交換おいて、タンクの通路断面の相当直径をDt、冷媒入口から前記各チューブの別に到達するまでの最長経路の寸法をLとした場合に、15≦L/Dt≦42としとは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明 	無有無有無有無 一ド ヴェルケ アクツィンエン 全頁 の一対のタンク間に配置される名・インとから構成された熱交換開立、 スロから前記をチューブの関した。 1.15≤L/Dt≤42とした。	2節囲	
	無 有無 一ド ヴェルケ アクツィンエン 全頁 の一対のタンク間に配置されるギャンとから構成された熱突の関ロウェットのよっ一次の関ロウェースの関ロウェースの関ロウェースの関ロウェースのようを表してある。	つ範囲 1-4	
	無有 有無 一ド ヴェルケ アクツィンエン 全頁 の一対のタンク間に配置されるぞ ィンとから構成された	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	性(IS) 請求
************************************	無 一ド ヴェルケ アクツィンエン 全頁 の一対のタンク間に配置されるネ ィンとから構成された熱交換器は 入口から前記各チューブの開口 1.5≤L/Dt≤42とした。		
文献及び説明 (PCT規則70.7) 文献1: JP 2002-521644 A (フォード ヴェルケ アクツィン ゲゼルシャフト) 2002. 07. 16, 全頁 & WO 2000/006964 A1 ・ 請求の範囲1-4 請求の範囲1に係る発明の、一対のタンクと、この一対のタンク間に配置され 数のチューブと、これらのチューブ間に介在するフィンとから構成された熱交換 おいて、タンクの通路断面の相当直径をDt、冷媒入口から前記各チューブの開 こ到達するまでの最長経路の寸法をLとした場合に、15≦L/Dt≦42としとは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明	ード ヴェルケ アクツィンエン 全頁 の一対のタンク間に配置されるぞ ィンとから構成された熱交換品 こ15≤L/Dt≤42とした		
文献1: JP 2002-521644 A (フォード ヴェルケ アクツィン ゲゼルシャフト) 2002.07.16,全頁 & WO 2000/006964 A1 ・ 請求の範囲1-4 請求の範囲1に係る発明の、一対のタンクと、この一対のタンク間に配置され めのチューブと、これらのチューブ間に介在するフィンとから構成された熱交換 おいて、タンクの通路断面の相当直径をDt、冷媒入口から前記各チューブの開こ到達するまでの最長経路の寸法をLとした場合に、15≦L/Dt≦42としとは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明	全頁 の一対のタンク間に配置されるネインとから構成された熱交換器と入口から前記各チューブの開口を、15≤L/Dt≤42とした。)範囲	請求
ゲゼルシャフト)2002.07.16,全頁 & WO 2000/006964 A1 ・ 請求の範囲1-4 請求の範囲1に係る発明の、一対のタンクと、この一対のタンク間に配置され 数のチューブと、これらのチューブ間に介在するフィンとから構成された熱交換 おいて、タンクの通路断面の相当直径をDt、冷媒入口から前記各チューブの開 こ到達するまでの最長経路の寸法をLとした場合に、15≦L/Dt≦42とし とは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明	全頁 の一対のタンク間に配置されるネインとから構成された熱交換器と入口から前記各チューブの開口を、15≤L/Dt≤42とした。		
& WO 2000/006964 A1 ・請求の範囲1-4 請求の範囲1に係る発明の、一対のタンクと、この一対のタンク間に配置され 数のチューブと、これらのチューブ間に介在するフィンとから構成された熱交換 おいて、タンクの通路断面の相当直径をDt、冷媒入口から前記各チューブの開 こ到達するまでの最長経路の寸法をLとした場合に、15≦L/Dt≦42とし とは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明	の一対のタンク間に配置される ィンとから構成された熱交換器に これを 1. 1.5≤L/Dt≤42とした。		
請求の範囲1に係る発明の、一対のタンクと、この一対のタンク間に配置され めのチューブと、これらのチューブ間に介在するフィンとから構成された熱交換 おいて、タンクの通路断面の相当直径をDt、冷媒入口から前記各チューブの開 こ到達するまでの最長経路の寸法をLとした場合に、15≦L/Dt≦42とし とは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明	ィンとから構成された熱交換器は 入口から前記各チューブの開口は 1. 15≤L/Dt≤42とした。		
請求の範囲1に係る発明の、一対のタンクと、この一対のタンク間に配置され めのチューブと、これらのチューブ間に介在するフィンとから構成された熱交換 おいて、タンクの通路断面の相当直径をDt、冷媒入口から前記各チューブの開 こ到達するまでの最長経路の寸法をLとした場合に、15≦L/Dt≦42とし とは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明	ィンとから構成された熱交換器は 入口から前記各チューブの開口は 1. 15≤L/Dt≤42とした。		青求の範囲1-4
っいて、タンクの通路断面の相当直径をDt、冷媒入口から前記各チューブの開 こ到達するまでの最長経路の寸法をLとした場合に、15≦L/Dt≦42とし とは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明	入口から前記各チューブの開口。 . 15≤L/Dt≤42とした。	・ューブ間に介在す	求の範囲1に係る発明のチューブと これらのき
とは、国際調査報告に引用された文献に記載されておらず、当業者にとって自明	おらず、当業者にとって自明な)相当直径をD t.	て タンクの通路断面の
少でもない。		れた文献に記載さ	、国際調査報告に引用る
			₽\ % °
	·		
		• • •	